100TH Anniversary
TERASAKI

第44期
中間報告書

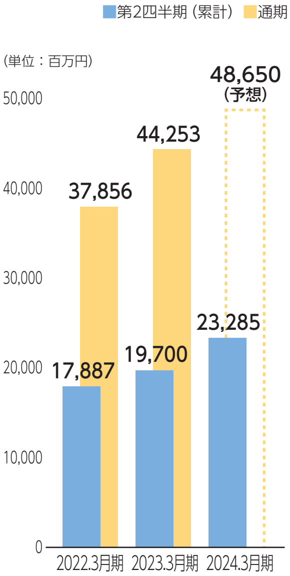
2023年4月1日～2023年9月30日

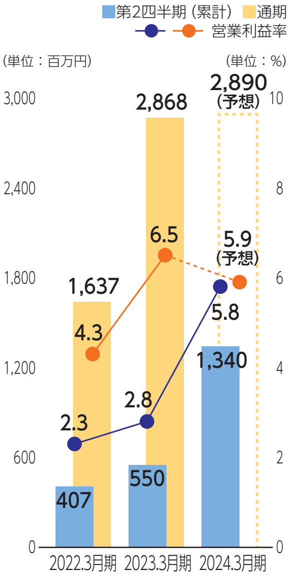
寺崎電気産業株式会社
TERASAKI ELECTRIC CO., LTD.
証券コード：6637

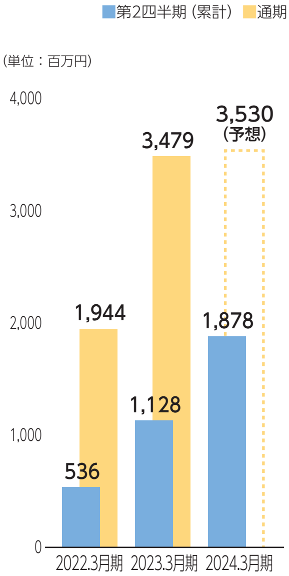
2024年3月期 第2四半期（累計）連結業績ハイライト

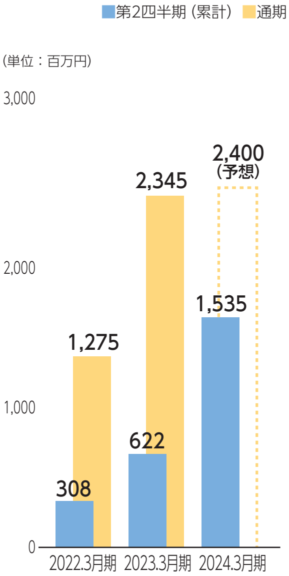
詳細は、当社ウェブサイトに掲載されているIR情報をご覧ください。
https://www.terasaki.co.jp/investor/

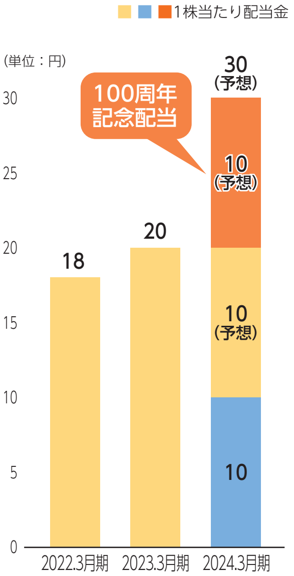
売上高	営業利益／営業利益率	経常利益	親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益	配当金
23,285百万円	1,340百万円	1,878百万円	1,535百万円	中間 10円
前年同期比 +18.2%	前年同期比 +143.6%	前年同期比 +66.4%	前年同期比 +146.7%	











2024年3月期 業績予想

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	配当金
48,650百万円	2,890百万円	3,530百万円	2,400百万円	中間 10円
前年同期比 +9.9%	前年同期比 +0.7%	前年同期比 +1.4%	前年同期比 +2.3%	期末 20円
				年間 30円

≪通期業績予想の前提となる下期の為替レート≫
1米ドル：135円、1ユーロ：150円、1英ポンド：170円、1豪ドル：90円

株主の皆様へ

　株主の皆様には平素から格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

　当社を取り巻く経済環境は、国内において、過剰在庫を調整する動きがあるものの、設備投資は底堅く推移しました。海外においては、一部の地域で設備投資に鈍化がみられるものの、脱炭素社会に向けた投資などを背景に堅調に推移しました。当社の主要顧客である造船業界においては、新造船の受注環境は軟調ながらも、LNG運搬船、自動車運搬船及び海上輸送の脱炭素実現に向けた次世代燃料対応船の需要を背景に手持ち工事量は高い水準を維持した一方、エネルギー価格や銅をはじめとする原材料価格が高止まり状態となっており、製品コストへの影響が懸念されます。

　このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の売上高は、船舶用システム製品及び機器製品が増加したことで、前年同期と比べ増加しました。営業利益及び経常利益は、売上増加に加え為替が前年同期に比べ円安水準で推移したことにより増益となり、加えて法人税等の調整により親会社株主に帰属する四半期純利益も増益となりました。

　今後も世界的な金融引締めによる影響や地政学的リスクなど、先行き不透明な状況は続くと見込まれます。このような状況下においても安定した製品提供を実現できるよう、引き続き臨機応変な事業運営に努めてまいります。

　おかげさまで当社は、2023年10月1日に創業100周年を迎えました。当社の発展を長年支えていただいた株主様をはじめ、ステークホルダーの皆様に、心より感謝申し上げます。

　私たちは、当社の100年の歴史と創業の精神をしっかりと受け継ぎ、次の100年に向けて長期にわたり持続可能な速度で成長を目指してまいります。

　株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2023年12月

代表取締役 社長執行役員

寺崎　泰造

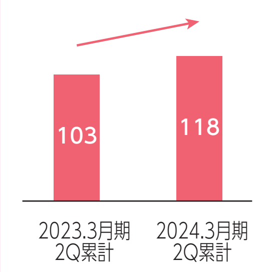
所在地別セグメントの概況

日本

売上高 118億円（前年同期比＋14.6%）

セグメント利益 12.2億円（前年同期比＋121.6%）

【売上高　推移】（単位：億円）



●**船舶用システム製品**

コンテナ船及び陸電供給システムが増加。

●**産業用システム製品**

国内グリーンエネルギー関連発電プラント、海外プラント、分散型エネルギー関連向けが増加。

●**機器製品**

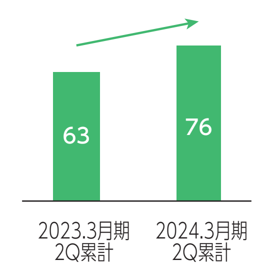
海外向け、国内向けともに好調。

アジア

売上高 76億円（前年同期比＋20.0%）

セグメント利益 4.6億円（前年同期比＋53.5%）

【売上高　推移】（単位：億円）



●**船舶用システム製品**

前年同期と比べ大幅増。

●**エンジニアリング及びライフサイクルサービス**

移動制限の緩和に伴い、修理・換装工事等が増加。

●**機器製品**

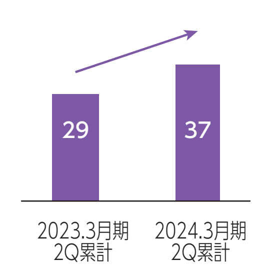
マレーシア国内向けが低調に推移。

ヨーロッパ

売上高 37億円（前年同期比＋26.9%）

セグメント利益 2.0億円（前年同期比＋37.9%）

【売上高　推移】（単位：億円）



●**機器製品**

欧州・英国内向けが堅調に推移。中近東の一部で大型案件向けの売上があった。

●**エンジニアリング及びライフサイクルサービス**

ブレーカの更新工事が減少、船舶向け修理等が増加。

製品別概況

システム製品（配電制御システム等）

売上高 116億円（前年同期比 ＋20.5%）

受注高 169億円（前年同期比 ▲9.7%）

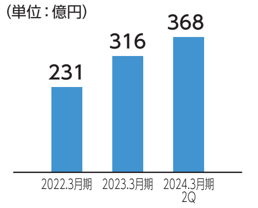
受注残高 368億円（前連結会計年度末比 ＋52億円）

機器製品（低圧遮断器等）

売上高 116億円（前年同期比 ＋16.0%）

（注）機器製品は、計画生産を行っているため、受注高、受注残高は開示しておりません。

【システム製品受注残高 推移】



特集

活かされて100年目のTERASAKI

－テラサキ100年のあゆみ－

おかげさまで私たち寺崎電気産業株式会社は、2023年10月1日に創業100周年を迎えました。これまで当社を支えてくださいました全ての皆様に、心より感謝申し上げます。

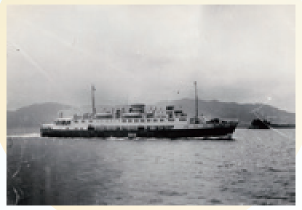
私たちは、当社の100年の歴史と創業の精神をしっかりと受け継ぎ、次の100年に向けて長期にわたり持続可能な速度で成長を目指してまいります。

1923

1923（大正12）年
創業者・寺崎安太郎が大阪市此花区に【寺崎電機製作所】を創設
刃型開閉器の製造・販売開始

1933（昭和8）年
国内初の公営地下鉄、大阪市営地下鉄の駅舎ヘデッドフロント型配電盤を初納入

1947（昭和22）年
船舶用配電盤を初納入



1955（昭和30）年
【寺崎電気産業株式会社】設立

1958（昭和33）年
短絡試験用発電機（1号機）導入
大容量遮断器の開発・検証が可能に

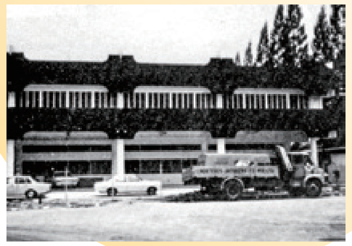
1961（昭和36）年
世界初の自動化船「金華山丸」に監視盤を初納入

1962（昭和37）年
大阪市阿倍野区に本社新築・移転

1963（昭和38）年
世界初・限流ブレーカ（MCCB）開発

1970（昭和45）年
初の海外子会社を英国に設立

1973（昭和48）年
シンガポールにテラサキ・エレクトリック・ファーイースト社（TEFE）設立



1973（昭和48）年
50周年記念式典を開催

1984（昭和59）年
テラテック株式会社設立

1988（昭和63）年
コージェネレーション向け発電機制御装置を開発

1988（昭和63）年
世界戦略製品の新型ブレーカTemBreak販売開始

1992（平成4）年
CCDカメラ搭載尿自動分析装置を開発、製造開始

1994（平成6）年
中国・広州にテラサキ・チャイナ社設立

1996（平成8）年
パナマのコロン・コンテナターミナル電気設備受注
エンジニアリングの実践経験を蓄積

1997（平成9）年
透析用監視装置を開発

2000（平成12）年
世界最小クラスの気中遮断器TemPower2を開発

2001（平成13）年
テラサキ伊万里株式会社設立

2007（平成19）年
ジャスダック証券取引所（旧東京証券取引所ジャスダック市場）に株式上場

2008（平成20）年
陸上電力供給システムTERASAKI Shore Connectionを開発、販売開始

2011（平成23）年
分散型統合監視制御システムTERANET50Xを開発・販売開始

2016（平成28）年
大阪市平野区の加美工場敷地内新社屋に、グループ本社を移転

2017（平成29）年
多用途透析装置初の完成品出荷

2020（令和2）年
小型化及び高遮断性能を実現した新型ブレーカPROシリーズを発表

2020（令和2）年
新型コロナウイルス検査のため遺伝子検査装置を緊急増産

2022（令和4）年
東京証券取引所スタンダード市場に移行

2023（令和5）年
TemBreak PRO 100AF/125AFスマートブレーカがJECA FAIR2023の製品コンクールにおいて国土交通大臣賞受賞

2023（令和5）年
創業100周年を迎える

100TH Anniversary

2023

TOPICS テラサキ100年の軌跡①

「一流品を世界に」受け継がれる創業者の想い

創業者である寺崎安太郎が1923年10月に「寺崎電機製作所」を起業したのは、弱冠二十歳の頃。当時わずか20平方メートルの作業場で、刃型開閉器や配電盤を製作する個人事業に着手しました。

丁寧な仕事を心掛け、「寺崎は良い品質の製品を納めてくれるので安心できる」と得意先の信頼を得て事業を拡大したことをきっかけに、安太郎は生涯にわたって一流品を作るという気概を抱き続けたのでした。

「我々が開発、製造、販売する世界で一流の製品とサービスを通じて、お客様に安全、安心、そして快適をお届けし、人類社会に貢献します。」当社の使命にもある通り、100年を経た今でも、創業者の精神はテラサキグループの社員一人ひとりによって守られ続けています。

創業者　寺崎安太郎

100周年記念事業

2023年、100周年という大きな節目を迎えた当社は、これまで支えてくださった皆様への感謝を胸に、次の100年に向けた当社の更なる飛躍を誓い、さまざまな記念事業を行いました。

TERASAKI 100周年ロゴマーク

100周年ロゴマークは、グループ企業の全員参加型事業として社内公募を行い、応募総数82作品から選ばれた原案を元にデザインしました。“1”は5枚の羽根で当社の5つの事業分野を表しており、右肩上がりのデザインには将来に向けた発展・飛躍の願いが込められています。

100周年ロゴマーク・大賞作品の原案

TERASAKI 100周年スローガン

社内公募73作品から選ばれたスローガンには、シンプルながらアッと驚くような仕掛けが。「TERASAKI」を逆から読むと、「活かされて」(IKASARETE)と読むことができます。多くの皆様に活かされ、100年という節目を迎えられたことへの感謝の気持ちが「TERASAKI」のアナグラムで表現されています。

活かされて100年目の
TERASAKI

記念式典の開催

2023年9月23日、「創業100周年記念式典」を開催しました。式典では、従業員・OB・国内外関係者を含め949名が参加しました。

寺崎社長は、「今後とも、当社の使命と経営理念を堅持しながら時代の変化に応じて事業運営を柔軟に進化させていくことで、全てのステークホルダーにとって明るい未来を築いていきたい」との想いを述べました。

式典後のパーティーでは、会社や部門を越えた幅広い交流が行われ、グループの皆が力を合わせて会社を発展させていこうと決意を新たにしました。また当社の歴史を纏めた映像も公開され、一世紀の歩みを振り返るとともに、株主様をはじめ多くのステークホルダーの皆様に活かされていることを実感する機会となりました。

▶100周年記念サイトのご紹介
https://www.terasaki.co.jp/100th/

TOPICS　テラサキ100年の軌跡❷

●1947年　計画造船政策に伴う船舶用配電機器の拡充

1947年9月、日本政府は、造船業界の再建、復興を促すことを目的に計画造船政策を開始。これに着目した当社は、船舶用配電機器の研究開発に乗り出すとともに、各種試験設備の導入、生産設備の充実などを図りました。1958年には創業者寺崎安太郎主導の下、大容量発電機の大型投資を実施。経営状況の厳しい中での判断でしたが、この発電機の導入が、当社の高い技術水準の保持と、大容量遮断器の開発検証を可能とし、また後の大型船舶用配電システムの開発へとつながったのでした。

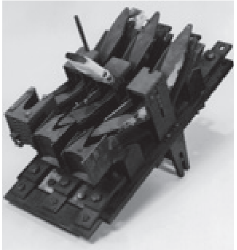
短絡試験用発電機（1号機）

1956年の初代南極観測船 宗谷にも当社製品が採用されました

●1963年　世界初・限流ブレーカの開発

1963年3月、当社は限流ブレーカを世界で初めて開発しました。

当時、船舶の大型化及び高速化に伴い、増大する使用電力量に対応できる遮断容量を備えたブレーカが求められていました。当社は、当時制御が困難とされてきた電磁反発力を活用した限流ブレーカの開発に成功。このニュースは、当時の電気技術の専門誌や業界誌にも大きく取り上げられ、「TERASAKI」の名がブレーカの有名ブランドとして広く認知されるきっかけとなりました。



開発当初の試作品

会社の概要

商　　　号	寺崎電気産業株式会社
本　　　社	大阪市平野区加美東六丁目13番47号
創　　　業	1923年（大正12年）10月1日
設　　　立	1980年（昭和55年）4月1日
資 本 金	12億36百万円
従業員数	2,108名（連結） 542名（個別）
連結子会社	国内4社、海外8社

取締役及び執行役員

代表取締役 社長執行役員	寺崎 泰造
取締役 専務執行役員	熊澤 和信
取締役 常務執行役員	長瀬 順治
取締役 常務執行役員	西田 昌央
取締役 常務執行役員	梅本 好弘
取締役 執行役員	岡田 俊二
取締役 執行役員	吉川 和宏
取締役 常勤監査等委員	小林 裕史
取締役 監査等委員（社外）	千代田 邦夫
取締役 監査等委員（社外）	鷹野 俊司

執行役員	浜野 修次郎
執行役員	西野 政治
執行役員	中川 英生
執行役員	安川 恵太
執行役員	武田 務

株式の状況

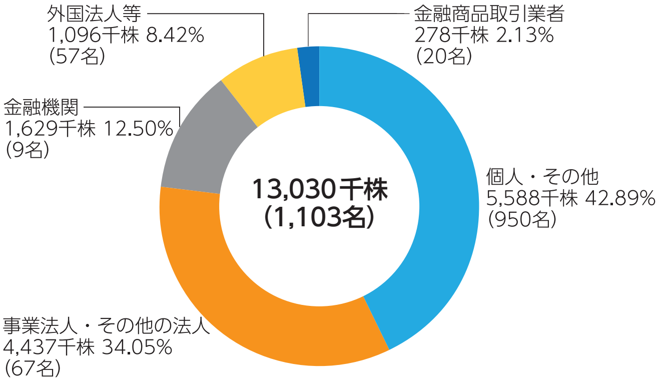
発行可能株式総数 …… 52,000,000株
発行済株式の総数 …… 13,030,000株
株　　主　　数 …… 1,103名

大株主の状況（上位10名）

株　主　名	持株数（千株）	持株比率（%）
株式会社寺崎	2,200	16.89
寺崎　泰造	1,138	8.74
テラサキトラスト株式会社	866	6.64
荒巻　かおり	738	5.66
寺崎　雄造	677	5.19
株式会社芳山社	653	5.01
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	602	4.62
テラサキ従業員持株会	551	4.22
テラサキ共栄会	535	4.11
有限会社アーク	400	3.07

（注）持株比率は自己株式（1,070株）を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



※自己株式（1,070株）は個人･その他に含めて記載しております。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
基準日	定時株主総会　毎年3月31日 期末配当　毎年3月31日 中間配当　毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月下旬開催
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社　大阪証券代行部 〒541-8502　大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話　0120－094－777（通話料無料） なお、特別口座に記載された株式に関するお手続き用紙（届出住所等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求取次依頼書等）のご請求につきましては、インターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。 https://www.tr.mufg.jp/daikou/
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所　スタンダード市場
公告方法	電子公告により行います。 当社ウェブサイト https://www.terasaki.co.jp/ （ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に掲載いたします。）

株主の皆様の声をお聞かせください

コエキク

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスキー入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。

https://koekiku.jp

アクセスキー [redacted]

スマートフォンからカメラ機能でQRコードを読み取り

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝を進呈させていただきます。

本アンケートは、株式会社プロネクサスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。
アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」 koekiku@pronexus.co.jp

寺崎電気産業株式会社
〒547-0002　大阪市平野区加美東六丁目13番47号
TEL：06-6791-2701（代）
https://www.terasaki.co.jp/

UD FONT
見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。
FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C013080
VEGETABLE OIL INK